



美術教育支援協会



発行・編集 / 事務局 〒167-0051 東京都杉並区荻窪 4-20-11 電話 : 03-3398-9155 FAX: 03-3398-9158
e-mail: info@npoaesa.org HP: npoaesa.org 現在会員数:92名(協賛4社)含

◆ 理事長あいさつ

2022.3.21

谷岡 清

この春こそは、コロナから解放され、本来の穏やかな暮らしに戻れるようにと願っていましたが、オミクロンはしぶとく、そう簡単には引き下がりません。その上、狂気の沙汰としか思えない他国への突然の侵攻、無差別砲撃による一般市民の殺害のみならず、訓練と言われて戦闘に参加し、死傷した多数の兵士たち、世界は今、天災と人災に病んでいます。

人類は、数え切れないほどの戦争をしてきました。そのたびにいわれなき理由で命を落とした人の数は、膨大なものになります。武力で物事を解決しようとする思想や狂気に対して、世界は話し合いの場を作り、協議を重ねることで、平和裏に解決しようと、努力を重ねて来ましたが、論理を無視した暴挙を止めることは出来ませんでした。

人類は、戦禍の中でも、芸術品を造り、祖先の遺した文化遺産を護ってきました。これこそ人間を動物たちと分ける証であり、特権だからです。歴史を見ると、暴挙には二種類あります。造る暴挙と壊す暴挙です。例えば、エジプトのピラミッド、インドのタージマハルなどは、その時代においては、身の丈を越えた建造物であり、ある種の暴挙でした。しかし、当時の“暴挙”は、時とともに貴重な文化財となり、その美と偉容を見ようと、世界中から観光客が押し寄せ、財政上の重要な資源となって、国民の生活を潤し続けています。暴挙は偉業となったのです。その点、破壊の“暴挙”は、人々の大切な生命と歴史遺産を壊滅するだけです。バーミヤンの大仏爆破がその例です。アフガニスタンの国民は掛け替えのない資源を失いました。祖先の人々が生きた証としてわれわれに遺した文化財は、子孫へそのまま“人類の宝”として遺す義務がわれわれにはあります。何の罪もない人々の命も暮らしも破壊し尽くす戦争の暴挙は、一刻も早く止めなければなりません。

◆ 2022年夏の美術フォーラム フランスの美を味わいつくす

花の都パリには多くの美術館があります。今回の美術フォーラムは、フランス美術に焦点を当て、ルーヴルもオルセーも、フランスの名作を選びすぐって紹介します。フランスの“美”を存分にお楽しみください。

*第1回 5月24日(火) 14時~16時

◆ ルーヴル美術館

—— フランスの輝ける栄光の日々

*第2回 6月7日(火) 14時~16時

◆ オルセー美術館

—— 女神と娼婦を彩る光の戯れ

*第3回 6月21日(火) 14時~16時

◆ ロダン美術館

—— 近代彫刻の幕を開けた‘問題’男

*第4回 6月28日(火) 14時~16時

◆ マルモッタン美術館

—— モネ芸術の最大コレクション

詳細は同封案内書及びHP (npoaesa.org) へ。
申し込みはFAXか電話でお願いします。
※予約人数は東京都の指示で40席で満員となります。お早めにお申し込みください。

● 申込み開始日 5月6日(月) から

講師 谷岡 清(当NPO理事長・美術評論家)

会場 杉並区産業商工会館(地図参照)03-3393-1501

主催 NPO 法人美術教育支援協会

後援 杉並区 / 協賛 プリハード株式会社

参加費:各回 一般 2000円(当日受付払い)

NPO 会員 1500円(定員40席です)

166-0004 杉並区阿佐ヶ谷南 3-2-19

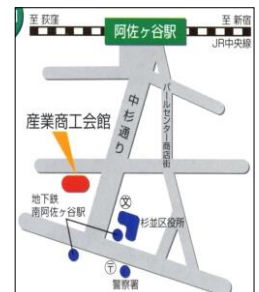
アクセス:JR 中央線阿佐ヶ谷駅南口 5分

東京メトロ丸の内線南阿佐ヶ谷駅 4分

申込み☎:03-3398-9155/FAX:03-3398-9158



ダヴィッド「ナポレオンの戴冠式」



◆ 2022 年秋の特別フォーラム企画 『落語と美術の出会いⅤ』 (プロジェクター解説と落語)

令和 4 年 9 月 29 日(木)14 時開演 (申込み先 ☎03-3398-9155) 杉並区 座・高円寺2(地下2F)

異色のコラボ「落語と美術の出会い」

東京都や会場の指導で中止になる場合があります。ご了承ください。

◇ 美術講演 「浮世絵に見る江戸の遊び心」 谷岡 清

◇ 落 語 「高田馬場」 古今亭 志ん彌

江戸時代は、長い平和な時代が続いたため、江戸の町人たちは、男女を問わず、遊び心を大いに羽ばたかせ、さまざまな“遊び”を楽しみました。歌舞伎や相撲などの本格的な興行や、遊女・町娘たちのファッション、お花見、川遊び、花火、銭湯、富くじ、園芸など、オタノシミは広範囲にわたり、ゲームや TV などのエレキを除けば、現代のあそびはほとんど江戸時代に始まっています。特に、祭りや社寺境内の縁日、大道芸などは、大変な賑わいで、その定番「ガマの油」は、あやしげな軟膏を売りつける口上のおもしろさでいつも黒山の人だかり。落語「高田馬場」は、何と敵討ちまで“遊び”にしてしまうという名作です。美術講演では、江戸っ子の粋な遊びを浮世絵の名画でたどります。ご期待ください。



古今亭志ん彌 師匠

●日時 2022 年 9 月 29 日 (木) 14 時～16 時半

●座・高円寺2 区民ホール (杉並区高円寺北 2-1-2 JR・高円寺駅北口線路沿い環7 方向徒歩5分)

●入場料 (自由席) : NPO 会員 2500 円 / 会員紹介 2800 円 / 一般・当日 3000 円

注) 今回は過密防止のため 130 席で予約満員札止めになります

■NPO 法人美術教育支援協会主催 ■杉並区後援・プリハード株式会社協賛

●お申込み : NPO 美術教育支援協会事務局 ☎ 03-3398-9155 fax : 03-3398-9158

ホームページ : npoaesa.org

●お申込み開始日 8 月 15 日 (月) より当日まで。但し当日満席の場合はお断りする場合があります。

◆ 2022 秋の土曜フォーラム企画 『イタリア美術特集』 (プロジェクター投影と解説)

2022 年の秋の「土曜フォーラム」は、人類の文化史上の奇跡とも言うべき、イタリア・ルネサンス期に同時に活躍した4 大巨匠の名作をじっくり鑑賞します。これまであまり知られていない巨匠たちの素顔に迫ります。

◇第 1 回 ルネサンスの夜明けとポッティチェリの傑作

◇第 2 回 科学する超画家ダ・ヴィンチのナゾ多き名画

◇第 3 回 “彫刻家”ミケランジェロが描いた“名画”たち

◇第 4 回 モテすぎて命を縮めたラファエロの華麗な生涯



ポッティチェリ「ヴィーナスの誕生」

講師 = 谷岡 清 (NPO 法人美術教育支援協会理事長・美術評論家)

会場 = 杉並区産業商工会館 (阿佐ヶ谷) 後援 = 杉並区 (予定)

日時 = 会場は 4 か月前申込です。会場と日時が確定次第お知らせします。(10 月～12 月開催予定)

参加費 (各回共) = NPO 会員 1500 円・一般 2000 円

各回 50 名定員となります

◆ 土曜フォーラムに参加して

河北 聰子

私はある会で叢島事務局長と出会い、このフォーラムに参加するようになり、毎回楽しみにしております。1970 年代フランスに滞在している義兄を姉と訪ねる旅行に出ました。パリ滞在のフランス系青年がイタリアを案内してくれる事となり、ローマ、ヴェネツィア、ミラノを巡りました。そこで感じた事は絵画、彫刻等の展示の仕方です。

フィレンツェが一番印象に残った町でした。市庁舎があるパラッツォ・ヴェッキオも面白かったし、ウフィッツィ美術館の開放的な絵の配置、照明の仕方、絵そのものの印象が強く残り、ジオットのマリア像、ルネサンス時代の傭兵隊長夫妻の肖像画、ポッティチェリのプリマペイラ等今思い出してもあのように飾ってあったなと目に浮かびます。

ミケランジェロの館に行くとかヴィンチ像がドーム型の部屋に自然光のもとに安置され、素晴らしい神々しさに、溜息が出ました。

私を美術史へと導いてくれた絵はフラ・アンジェリコの「受胎告知」です。中学時代の教科書で出会いました。その絵がある修道院が改築中で、出会えると胸躍らせたのですが残念ながら出会えませんでした。

日本に泰西名画がやって来ますが、暗い照明、壁、低い天井等疲れる事が多く印象に残りません。オルセー美術館が日本のスタイルを取り入れたと聞きますが、鑑賞者の反応はどのようなのでしょうか？谷岡先生は幾多の美術館を訪れて、展示のあり方などは、如何思われますでしょうか？

都市と都市の間は鉄道を使いましたが、街中は歩け歩けと乗り物は使用せず、体力・好奇心の旅は、私にとって最良の旅でした。

フォーラムはその当時を思い出させてくれます。

◆2021 特別フォーラム「落語と美術の出会い」の報告

2021 年で 4 回目を迎える好評企画『落語と美術の出会いⅣ』が杉並公会堂小ホールにおいて開催されました。

テーマ「美女＊美味＊美食-----江戸のグルメを味わい尽くす」

◆美術講演「浮世絵に見る江戸の食文化」講師・谷岡清（美術評論家／当 NPO 理事長）

◆落語「鰻の幫間(たいこ)」古今亭志ん彌（落語協会真打）

2021 年 9 月 17 日(金)14:00 杉並公会堂小ホール

美術講演では江戸時代の美女・美味・美食をテーマに主に浮世絵を題材に和食の四天王である寿司・鰻・蕎麦・天ぷらのルーツを谷岡清理事長がユーモアたっぷりに掘り下げました。投影された画像は大画面鮮明で好評でした。

落語では「鰻の幫間(たいこ)」で売れない太鼓持ちと客がうなぎ屋の 2 階に上がり込んだのは良いが、だまし合いになり、そのやりとりが師匠の話術にかかると大笑い。熱演の一席に皆さん大喝采でした。

主催・NPO 法人美術教育支援協会 後援・杉並区 参加者 83 名

協賛・プリハード株式会社(NPO 会員 2500 円／既参加者 3000 円／一般 3500 円)



杉並公会堂会場と谷岡講師



志ん彌師匠

◆ 2021 秋の土曜フォーラム の報告

『エジプト美術』エジプト政府が国の威信をかけて建設中の『大エジプト博物館』に合わせて一足先に土曜フォーラムで画像を駆使しながら谷岡清講師が説明しました。 各日:14 時~16 時 15 分

- 第 1 回令和 3 年 10 月 16 日(土)「ピラミッドの秘密」---最近の科学を駆使し、建設法や内部構造の謎に迫る
- 第 2 回令和 3 年 10 月 30 日(土)「墓に描かれた壁画の驚異」--- 昨日描かれたような鮮明な壁画が語る王の夢
- 第 3 回令和 3 年 11 月 20 日(土)「ツタンカーメンの秘宝」----20 世紀最大の発見---まばゆい黄金の世界
- 第 4 回令和 3 年 12 月 11 日(土)「クレオパトラの美貌」----現代まで語られる美貌は本当? 骨と肖像で解説

■【参加費】 NPO 会員: 1500 円 一般: 2000 円
 参加人数: 延べ 120 名
 ・杉並区後援 ・プリハード株式会社協賛
 於: 杉並区立産業商工会館
 (杉並区阿佐ヶ谷南 3-2-19)



土曜フォーラム
講演会風景

◆ 2021 年度事業報告 2021(令和 3 年).4.1 ~ 2022(令和 4).3.31

2021(令和 3 年).4.1 新年度第 15 期スタート
 4/1 第 1 回理事会(メール・電話) 今期の予定など
 4/1~ 美術フォーラム予定など
 会報 Vol.14 編集打ち合わせ
 会報 Vol.14 発行・発送など打ち合わせ
 会報原稿依頼・編集・打ち合わせ・印刷発注
 5/15 会報(Vol.14) 発行・発送
 2021 夏の美術フォーラム 4 回シリーズ 於・産業商工会館
 5/31 美術フォーラム ①「エドワール・マネ」
 6/14 美術フォーラム ②「クロード・モネ」
 6/21 美術フォーラム ③「フィンセント・ファン・ゴッホ」
 6/28 美術フォーラム ④「エミール・ガレ」
 7/10~ 第 2 回理事会(メール・電話)
 落語コラボ・土曜フォーラム打ち合わせ
 落語チラシ・土曜フォーラムチラシ原稿打ち合わせ
 印刷発注・発送

9/17「落語と美術の出会いⅣ」 杉並公会堂小ホール
 美術講演「江戸の美女・美味・美食」谷岡 清
 落語「鰻の肴間(たいこ)」古今亭志ん彌
 -----江戸のグルメを味わい尽くす
 2021 年秋の土曜フォーラム 4 回シリーズ 於・産業商工会館
 10/16 秋の土曜フォーラム ①「ピラミッドの秘密」-----
 最新の科学を駆使し、建設法や内部構造の謎に迫る
 10/30 秋の土曜フォーラム ②「壁に描かれた壁画の驚異」-----
 昨日描かれたような鮮明な壁画が語る王の夢
 11/20 秋の土曜フォーラム ③「ツタンカーメンの秘宝」-----
 まばゆい黄金の世界と愛妻が砂得た真心の花束
 12/1 秋の土曜フォーラム ④「クレオパトラの美貌」-----
 現代まで語られる美貌は本当? 骨と肖像で説明
 12/16 第 3 回理事会(対面)・懇親会
 今年度総括・来年度予定など

◆ 事務局より会費納入のお願い

会員の皆様へ: 16 期(令和 4. 4.1~令和 5. 3.31)の会費納入をお願い申し上げます。

年会費 3000 円をお振込みいただきますようお願いいたします。

- 三菱UFJ 銀行 荻窪支店 普通 1792572 (口座名: トクテイエイカツウホウジンビシ ユツキョウイクシエンキョウカイ)
- 同封の郵便振替用紙にて (送金料無料) 振替 00140-2-318540 (加入者名: NPO 法人美術教育支援協会)

◆ 事務局長から 2022 年度 Vol.15 会報お届けにあたって

理事・事務局長 簗島 絢一

このところのコロナ禍も、異変株のオミクロンから、BA2・XE と、止まることを許しません。第六波の終息も、いつ又第七波が……と思うと穏やかでおれない今日この頃です。コロナ禍にも増して、ウクライナ・ロシアの戦争状態は、その激しさが目を覆う惨状です。我々が今、何を為せるのかも問われ続けて居ります。

上記環境下ではございますが、当会が第 16 期を迎え、春の美術フォーラムも第 7 回を実施できます幸せと喜びを感じる昨今でもございます。美術の世界の一端に触れる事で、過去の人類の歩みを振り返り、勇気を奮い起こす礎と為す事も芸術・美術の大切な役割と確信致しております。

皆様も今一度、コロナ禍・ウクライナ問題をそっと横に置いて、美の世界のひと時に浸ってみられる事をお勧め致します。